

令和元年11月7日（木）

件名 岩国基地関連の防衛省への要請について

概要 本日、福田市長が山口県の政府要望に同行し、下記のとおり要請を行いましたので概要をお知らせします。

記

- 日時：令和元年11月7日（木）15時05分～15時30分
- 場所：防衛省本省（庁舎A棟）副大臣室
- 要望先：防衛副大臣 山本 朋広（やまもと ともひろ）
- 要望者：山口県知事 村岡 嗣政（むらおか つぐまさ）
山口県議会議長 柳居 俊学（やない しゅんがく）
岩国市長 福田 良彦（ふくだ よしひこ）

5. 要請の概要（岩国市分のみ）

（1）国に対する要請（福田市長の発言）

〈米軍事故報告書の規律違反について〉

- 米軍に対しては、これまで、航空機の整備点検や綱紀粛正について、再三要請を行ってきたにもかかわらず、部隊の中で規律違反が蔓延していたことが、今回の事故報告書により明らかになった。こうしたことは、市民の不安や懸念を増大させる許しがたい行為である。
- 国においては、二度とこのようなことが起こらないよう、米軍における組織の綱紀粛正について強く求めるよう要請する。
- また、米軍のプログラムやマニュアルの見直しや管理体制の改善についての取り組みに関しては、その具体的内容を把握し、改めて説明していただきたい。

〈国からの速やかな情報提供について〉

- 今回の情報については、報道機関から最初に情報を得ているが、その前に国から情報提供がなかったことについては、大変遺憾である。
- 今後、地元自治体にとって重要な情報については、的確かつ速やかに提供されるよう強く要請する。

（2）市の要請に対する回答（山本副大臣の発言）

- 岩国飛行場においては、米海軍の空母艦載機部隊を始め、米海兵隊のKC-130やF-35B等の部隊も配備・運用されており、これらを受け入れていただいている山口県の皆様方には、大変有難く、深く感謝申し上げます。
- 防衛省としては、岩国飛行場周辺の皆様が安心して安全に暮らせる環境を確保することは極めて重要であると認識している。
- 昨年の岩国基地所属機による事故については、事故発生要因の一つとして、事故を起こした部隊において、規律違反が常態化していたことが挙げられており、この調査結果を踏まえ、米側においては、部隊の複数の幹部を解任するとともに、プログラムやマニュアル

の見直し、管理体制の改善に取り組んでいるものと承知している。

- 事故調査報告書については、そうした事故原因や再発防止策等の内容を御説明したところだが、今後は本日の村岡知事及び福田市長からの要請を踏まえ、より一層の丁寧な説明や情報提供に努めていく。
- 他方、もとより米軍の運用に当たっては、安全の確保が大前提であり、事件・事故は、あってはならないものである。防衛省としては、引き続き米側に対し、安全管理の徹底等について、しっかりと求めていく。
- いずれにしても、米軍の運用に当たっては、地元の皆様に与える影響を最小限にとどめるよう米側に求めるとともに、騒音対策等についても、万全を期していく考えである。

担当課 岩国市総合政策部基地政策課

TEL0827-29-5024/Fax0827-21-3572